

邦人の態度

公孫樹

在伯日本人の私共は、年に一度の天長節に領民地の運動場高く、大日章旗を伯國旗と交換して母國情経にひたる。

空吹く風にヒラ／＼と舞ふる日の丸の旗、伯國人は、其他外人には、其旗は白地に赤くし難い立場合にたどるのは在米の邦人だ。

斯うなつた場合、北米も日本を書いた單純な色旗をしか見ぬであらう。

然し私共の眼に其旗が、青星にヒラ／＼と舞ふるはためしが映る毎に、母國に直面して居る毎に、母國の感動は、私共はあの旗の下に死ぬるだぞ。

云ふが眞が譯る。

何事のはしますかは知らぬが、異域万里の地にて日の丸の旗に対する感動は、母國愛……祖國愛の發露に外ならず。

特に母國は昨今、非常に直面して居る。

内外相は、日本は庶士と化すとも、日本の進むべき道は歩も譲らぬ母國議政道上に盤

示す。日本は、一一致團結せよ

と八千方同胞に呼びかけたは陸相荒木である。

母國よりの斯うした力強い異

心の一つの現はれがノロエステ

高原にてきく時、私共日本人の心と心とは、涙しながら歓び合つて居る。

非當時日本だ、一致團結せよ

と八千方同胞に呼びかけたは陸相荒木である。

外人には不思議な心だ。

母國よりの斯うした力強い異

心の一つの現はれがノロエステ

高原にてきく時、私共日本人の心と心とは、涙ながら歓び合つて居る。

非當時日本だ、一致團結せよ

と八千方同胞に呼びかけたは陸相荒木である。

母國よりの斯うした力強い異

心の一つの現はれがノロエステ

高原にてきく時、私共日本人の心と心とは、涙ながら歓び合つて居る。

非當時日本だ、一致團結せよ

と八千方同胞に呼びかけたは陸相荒木である。

外人には不思議な心だ。

母國よりの斯うした力強い異

心の一つの現はれがノロエステ

高原にてきく時、私共日本人の心と心とは、涙ながら歓び合つて居る。

非當時日本だ、一致團結せよ

と八千方同胞に呼びかけたは陸相荒木である。

